



☆ジョブチェンジセミナー開催しました！☆

11月17日(水)、VOICEセミナー第2弾 Talk Live「ジョブチェンジ経験者」を開催しました。今回のセミナーは元々は私たちと同じMSWとしてお仕事をされ、今は他のフィールドで活躍される4名の方をゲストにお迎えして、皆さんの経験談や今後の展望、MSWへの思いなどをお話していただきました。約40名の方にご参加いただき、大変楽しい雰囲気のセミナーを開催することができました。セミナーを通じて、「MSWにとって大切なことは何か」を改めて全員で共有できたと思います。今年度のセミナーはこれで終了となりますが、来年度も楽しい企画を検討していこうと思います。ご参加よろしくお願ひいたします。

<ゲスト>

小川里砂氏(サニーマーク代表社員)

園田淳司氏(Swrs.STAND BY相談支援専門員)

工藤真一氏(大東よつば病院事務長代理)

中川望氏(大分県スクールSW)



★新年会のお知らせ★

日時: 2022年2月4日(金) 19:00-20:30 方法: Zoom開催・お1人でもグループでの参加も可能です。
グループごとでの交流会や空くじなしの大抽選会を行います♪ 申し込み締め切り: 2022年1月31日(月)

理事動向

8月21日福岡県医療ソーシャルワーカー協会研修シンポジスト
8月23日大分市在宅医療・介護連携推進会議
9月1日大分県循環器病対策推進会議(医師会館)
9月9日大分県看護協会・2021年度教育研修講師派遣
9月10日介護支援専門員研修専門家修過程Ⅱ講師
9月17日薬剤師会健康サポート薬局研修会
10月26日大分市在宅・医療介護連携センター打ち合わせ
10月30日介護支援専門員研修専門研修過程Ⅱ講師
11月1日九州医療ソーシャルワーカー協議会
11月1日第1回循環器病対策推進協議会
11月6日全国医療ソーシャルワーカー協議会会長会
11月9日九州医療ソーシャルワーカー協議会
11月9日大分市在宅医療・介護推進事業運営会議
11月12日大分県看護協会2021年度教育研修ファシリテーター派遣
11月20日市民後見人養成講座フォローアップ研修
11月27日介護支援専門研修専門研修過程Ⅱ講師
11月29日三役会議

12月1日都道府県協会社会貢献事業担当者会議
12月4日九州医療ソーシャルワーカー研修会
みやざき大会座長・ファシリテーター
12月7日大分市在宅医療・介護推進事業運営会議
12月20日大分県循環器病対策推進協議会
12月22日大分県保健医療団体協議会

NEW FACE

・福井 靖一朗(南海医療センター)
・浜田 陽太郎(社会医療法人関愛会)
・加藤 泰子(やまおか在宅クリニック)
2021年12月1日現在 会員数290名

一般社団法人

大分県医療ソーシャルワーカー協会 事務局

〒875-0051 大分県臼杵市大字戸室長谷1131-1

(臼杵市医師会立コスモス病院内)

TEL: 0972-62-5883(連携室直通)

FAX: 0972-62-8404(連携室直通)

E-mail: info@oita-msw.com

URL: https://oita-msw.com



編集後記

新年、あけましておめでとうございます。今年も協会活動が身近に感じられるよう、情報発信をしていきますので、よろしくお願ひ致します！

(Vol. 62 担当: Y)

おおいた

がはら版

vol. 62

変わる世界とソーシャルワーカー

新年、明けましておめでとうございます。

2022年も、皆様並びにご家族を含めた縁者の方々、そして、皆様が展開するソーシャルワークを受けるクライアントとその関係者が遍く幸福であることを心から願っております。

さて、みなさんは、「地質時代」という時代区分をご存じでしょうか。普段は馴染みがない言葉ですが、恐竜に興味がある(あった)方はピンとくるでしょうか。これは46億年前に誕生した地球の歴史を、主な生物の生存期間に即して時代を表のように区分したものです。そして、この地質時代の考え方は時代ごとの生物の繁栄と絶滅のみならず、火山噴火、氷河期、隕石の衝突など、地球環境の劇的な変化を物語るものでもあります。

いま私たちが生きているのは新生代の中の完新世です。約1万1700万年前(縄文時代のころ)から始まり、それ以降比較的温暖で安定的な気候によって人類は繁栄して来ましたが、実は近年、新しい時代に突入したと言われ始めています。

それは、『人新世』(ひとじん)しんせい)です。『人新世』は、人類の活動が、隕石の衝突や火山の大噴火、氷河期に匹敵する地質学的な影響を地球や地質に与えていることを表わす新造語で、いわゆる「グレート・アクセラレーション」(20世紀後半からの人間活動の爆発的増大)によって、1950年前後に始まったとされています。人口の極端な増加、エネルギー消費の肥大化、グローバリゼーション、モノの大量生産、都市の巨大化、テクノロジーの進歩などの社会構造や経済の大変化は、大気や海洋汚染を進め、環境破壊、気候変動など引き起こし、地球全体に影響を及ぼしています。『人新世』は未来の地質が分析された際に、著しい特徴を見せるという示唆なのです。

『人新世』を始めた私たちの今に目を向けると、やはり気候変動による災害や自然環境と生態系の変化は年々注目度が上がっています。グレッタ・トゥンベリさんの活動は世界中に波紋を起こし、耳に馴染んできたSDGsの目標17のうち6つは環境に関することであり、2021年の新書大賞となった『人新生の資本論』では経済成長至上主義が限界を超えたことに警鐘を鳴らし、これからの生き方にヒントを示しています。11月に開催されたCOP26では様々な提言がなされました。2019年に公開された新海誠の『天気の子』は気候変動によって変わった世界を表現しています。

地質学による時代区分は、生物の繁栄と絶滅を表明する場合もありますが、それに倣うなら『人新世』と言われるこの時期は人類の何を意味するのでしょうか…。

新年を迎えるにあたり、私たちソーシャルワーカーは、人々の生活、暮らし、生き方、人とのつながり方、環境すべてが大きく変容していく大転換期にいることから目を背けてはならないと改めて思います。

時代は、地球規模の環境変化が進んでいます。他方で、宇宙が社会・経済活動の対象となってきました。また、仮想世界がよりリアルな社会になってきています。そして、それらに呼応するように社会通念や常識と思われてきたものが加速度的に変化しています。私たちソーシャルワーカーはこれらすべてを、目の前にいるクライアントの環境として理解し、この環境の中にいるクライアントの援助を展開する専門職として存在しています。

2022年もいくつもの変化とその進展があるでしょう。私たちは、その変化を敏感に察知し、興味を持ち、理解し、高い水準のソーシャルワークを展開していく者たちです。視野を広く、柔軟な姿勢で、多彩な感受性をもって、世界と社会を捉えていきましょう。

本年も、大分県ソーシャルワーカー協会は、皆様のそういった姿勢を支援できるよう力を尽くして参ります。よろしくお願ひいたします。

(一社)大分県医療ソーシャルワーカー協会 副会長 今尾顕太郎

(一社)大分県医療ソーシャルワーカー協会 2022年 1月発行



地質時代（概略）					
顕生代	新生代	第四紀	完新世	現在～1万1700年前（人類の発展へ）	
			更新世★	～258万年前（現生人類種が生き残る）	
		第三紀	鮮新世	～533万年前（猿人の発展）	
			中新世	～2300万年前（大陸がほぼ現在の様相になる）	
			漸新世	～3390万年前（類人猿の出現）	
			始新世	～5600万年前	
			暁新世	～6600万年前（哺乳類・魚類の進化）	
	中生代	中生代	白亜紀	～1億4550万年前（恐竜絶滅・哺乳類進化）	
			ジュラ紀	～1億9960万年前（恐竜の繁栄）	
			三畳紀	～2億5100万年前（恐竜の出現）	
		古生代	古生代	ペルム紀	～2億9900万年前（超大陸パンゲア形成）
				石炭紀	～3億3920万年前（爬虫類出現）
				デボン紀	～4億1600万年前（両生類・種子植物出現）
				シルル紀	～4億4370万年前（昆虫・陸上植物出現）
	オルドビス紀			～4億8830万年前（オゾン層形成）	
	カンブリア紀			～5億4200万年前（地球全体が海）	
	原生代		～25億年前（光合成で酸素ができる）		
	太古代（始生代）		～40億年前（生物誕生）		
	冥王代		地球誕生～46億年前		



今年度は、8月に中部圏域でのスマイルミーティング、9月に東部圏域、10月に豊肥・南部圏域での開催をしました。ZOOMでの開催でもあり、これまでとは一味違った自己紹介や、自由な意見交換などもあり、参加者の皆様から「もっと話をしたかった」、「久しぶりに顔が見れた」など、有難いご意見も多かったです。また、初任者と中堅者との交流や、ZOOMでの開催により圏域を超えての参加などもありました。

リレーフォーライフジャパンについては、昨年同様のセルフウォークリレー、SNSでのMSW協会のセルフウォークリレー、10月24日に開催された会場でのリレーフォーライフジャパン2021と、参加することができました。セルフウォークリレーについては、MSW協会員50名の参加、期間中の総歩数は約223万歩となりました。協会員の皆さまありがとうございました。

ネットワーク推進部は、今後回復期リハビリテーション病棟を対象にしたスマイルミーティングを予定しています。開催についても、対面での開催が今後できるように取り組んでいきます。また、ネットワーク推進部の活動を一緒に取り組んでもらえる部員もまだまだ募集していますので、よろしくお願いします。



こんにちは。学術部です。令和4年もよろしくお願いいたします。今回は学術研究大会と診療報酬改定について周知させていただきます。まず、学術研究大会ですが令和4年3月13日(日)大分県介護研修センターにて開催予定です。内容は演題発表、診療報酬改定等について検討中です。昨年に引き続き、ハイブリッド形式にて開催する予定としています。詳細については近日中にお伝えできるように部で話し合いを重ねています。演題発表について絶賛募集中です。沢山の申し込みの程お待ちしております。

また、学術部の新たな取り組みとして書籍の紹介をInstagramに随時アップしていきます。ぜひチェックしてみてください。「フォロー」や「いいね」もお待ちしております。その上で、皆様がおすすめしたい書籍等がありましたら学術部にご連絡ください。



帰巖会みえ病院 守本楓さん
「PDCAプロジェクトに参加し、目指すべきソーシャルワーカー像、そこにたどり着くためにはどう取り組むべきかなど、自分自身と向き合い、目の前の課題を整理することができました。」

大分県済生会日田病院 小野恵奈未さん
「私がPDCAプロジェクトに参加して変化したことは、日々の業務にただ取り組むだけでなく、自分で設定した目標・スモールステップを日頃から意識して仕事に取り組む癖をつけることができるようになったことです。」

大分大学医学部附属病院 嶋田奈々さん
「私は入職後面談が上手くいかず、初期面談を避けていました。今回PDCAプロジェクトに参加したことで、週1回のSVを継続し、アセスメントについて自身での振り返り、上司からの指導を受け、積極的に面談に取り組むようになりました！」

帰巖会みえ病院 比永美咲さん
「今の自分の課題が何なのか、課題に対して何が必要かを考える良いきっかけとなりました。個人的には、1日のTODOリストを作成することで、仕事の優先度を意識するようになりました。今後も継続していきたいです。」



大分県厚生連鶴見病院 東恵莉子さん
「新しく担当した診療科に焦点を当てたPDCAサイクルを立てました。1ヶ月ごとに見直すことで、意識しながら行うことができました。また回数を重ねることに少しずつですが身に付いてきているのを感じました。」

研修部では、「私達の学びがCLを笑顔にする。そして世界を変える。We ♥ SW」のPurpose(存在意義)の元、協会員のソーシャルワーカーとしての実践力向上に向け、興味・関心を持ってもらえるような研修会作りと運営を行っています。

コロナ禍になり、Zoom等のオンラインが主流となりましたが、研修の方法については趣向を凝らし、オンデマンド学習や事前勉強会を組み合わせた研修会の実施、内容については新たに初任者に向けキャリアラダーの活用やPDCAプロジェクトの実施等を行ってきました。今年度はもう残り少なくなりましたが、試験的にPeatixを用いた研修の広報と申し込みを開始し、スーパービジョンの研修も予定しています。

協会員の皆様が面白いと思ってもらえるような研修会作りをこれからも行っていきたくと思っていますので、日々の実践での困りごとや研修会のアイデア等ご意見をたくさんいただければ幸いです。また、研修部員も募集しています。よろしくお願いします！

